

地域づくり講座

～課題解決にはどんな力が必要？～

日時

令和8年3月5日(木) 午後2時～5時

内容

講義+グループワーク形式

※講義とグループワークを2回ずつ行います

講師

牧野 光朗(まきの・みつお)先生

追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 教授、
中央教育審議会 専門委員(産業教育 WG 主査)、
前 飯田市長(2004/10～2020/10)



場所

茅野市中央公民館 2F 学習室

対象

諏訪郡内の公民館・区(自治会)関係者、
自治体職員、教職員、企業の研修ご担当者様、
地域課題・社会課題に興味のある方等

申込・問

茅野市中央公民館

令和8年2月2日(月)正午から

電話・インターネットにて受付

電話番号:0266-72-3266



▲インターネット申込
*カメラ読み取りかタップで
申込ページへ飛びます

～この講座の企画の背景～

「茅野市の子どもが茅野市から出ていってしまう問題」のように、地域課題や社会課題は複雑なものがが多く、自分ひとりの力だけでは解決できないものがほとんどです。自身の能力を伸ばすことと同じく重要なのが、他の人の助けを借りながら一緒に取り組める力だと考えます。

講師の牧野先生は、「リテラシー教育に偏った人材育成では、自己完結型人材が育成され、自己完結型組織がつくられ、自己完結型社会がつくられます。自分で解決できない問題は放置されてしまい、その結果、エアポケット(空白)が放置される地域になってしまいます。これはバブル期以降の『失われた30年』と重なっています。」とご指摘されています。

この講座では、「連携力重視型」の人材のコンピテンシー(行動特性)を通して、課題解決を図るためにどんな力が必要になるか、地域社会に求められるのはどういった人材かを具体的に学びます。